

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成22年2月12日 (2010.2.12)

【公開番号】特開2008-176880(P2008-176880A)

【公開日】平成20年7月31日 (2008.7.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-030

【出願番号】特願2007-10551(P2007-10551)

【国際特許分類】

G 1 1 B 7/0045 (2006.01)

G 1 1 B 23/40 (2006.01)

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/0045 Z

G 1 1 B 23/40 B

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 7/24 5 7 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月22日 (2009.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一方の面がデータ面であるとともに他方の面がレーベル面となっている着脱可能記憶メディアの挿入部と、前記挿入部に挿入された記憶メディアのデータ面にデータを書込むデータ書込部と、元情報を取得する元情報取得部と、前記元情報取得部が取得する情報に応じて記憶メディアのレーベル面に書込む画像を自動的にレイアウトする画像作成部とを有することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

記憶メディアのレーベル面に書込済の画像のレイアウトに関する情報を取得するレイアウト情報取得部を有し、前記画像作成部は取得されたレイアウト情報に応じ書込済の画像を妨げないように新たに書込む画像を自動的にレイアウトすることを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【請求項 3】

前記画像作成部は、記憶メディアのデータ面の書込み可能領域の情報に基づき記憶メディアのレーベル面に書込む画像を自動的にレイアウトすることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の記録装置。

【請求項 4】

前記画像作成部は、前記元情報取得部が取得する情報が文字情報であるとき、前記元情報および記憶メディアのデータ面の書込み可能領域の情報に基づき、文字の大きさを自動的に決定することを特徴とする請求項 3 記載の記録装置。

【請求項 5】

前記画像作成部は、前記元情報取得部が取得する情報が文字情報であるとき、前記元情報および記憶メディアのデータ面の書込み可能領域の情報に基づき、文字列の改行を自動的に決定することを特徴とする請求項 3 または 4 記載の記録装置。

【請求項 6】

前記画像作成部は、前記元情報取得部が取得する情報が複数項目からなる文字情報であるとき、前記元情報および記憶メディアのデータ面の書込み可能領域の情報に基づき、書込む画像の項目を自動的に選択することを特徴とする請求項 3 から 5 のいずれかに記載の記録装置。

【請求項 7】

前記データ書込部による書込残容量を検出する検出部を有し、前記画像作成部は、前記検出部に応じ残容量に対する書込み余地を考慮して記憶メディアのレーベル面に書込む画像を自動的にレイアウトすることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記の課題を解決するため、一方の面がデータ面であるとともに他方の面がレーベル面となっている着脱可能記憶メディアの挿入部と、挿入部に挿入された記憶メディアのデータ面にデータを書込むデータ書込部と、元情報を取得する元情報取得部と、元情報取得部が取得する情報に応じて記憶メディアのレーベル面に書込む画像を自動的にレイアウトする画像作成部とを有する記録装置を提供する。したがって決定された焼付領域から逸脱することなくレーベル面に焼き付けるのに必要な情報を焼き付けることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の他の特徴に寄れば、記憶メディアのレーベル面に書込済の画像のレイアウトに関する情報を取得するレイアウト情報取得部を有し、画像作成部は取得されたレイアウト情報に応じ書込済の画像を妨げないよう新たに書込む画像を自動的にレイアウトする記録装置を提供する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の他の特徴に寄れば、画像作成部は、記憶メディアのデータ面の書込み可能領域の情報に基づき記憶メディアのレーベル面に書込む画像を自動的にレイアウトする記録装置を提供する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明の他の特徴に寄れば、画像作成部は、元情報取得部が取得する情報が文字情報であるとき、元情報および記憶メディアのデータ面の書込み可能領域の情報に基づき、文字の大きさを自動的に決定する記録装置を提供する。割付に応じて文字サイズを調整することができるのでバランスの取れたレイアウトが可能となる。また、最小フォントサイズを設定することで自動的に使用者の視力を超えて設定されることが無いので一般ユーザにとっても最適なレイアウトが容易に可能となる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明の他の特徴に寄れば、画像作成部は、元情報取得部が取得する情報が文字情報であるとき、元情報および記憶メディアのデータ面の書込み可能領域の情報に基づき、文字列の改行を自動的に決定する記録装置を提供する。割付に応じて文字を項目別に改行することができるのでバランスの取れたレイアウトが可能となる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

本発明の他の特徴に寄れば、画像作成部は、元情報取得部が取得する情報が複数項目からなる文字情報であるとき、元情報および記憶メディアのデータ面の書込み可能領域の情報に基づき、書込む画像の項目を自動的に選択する記録装置を提供する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

本発明の他の特徴に寄れば、データ書込部による書込残容量を検出する検出部を有し、画像作成部は、検出部に応じ残容量に対する書込み余地を考慮して記憶メディアのレーベル面に書込む画像を自動的にレイアウトする記録装置を提供する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】